

平成 28 年度 共同研究報告書

研究区分	萌芽的共同研究	
研究課題	食事制限による免疫制御メカニズムの解明と免疫関連疾患予防法への応用	
研究代表者	所属	信州大学農学部食品免疫機能学分野
	職名・氏名	助教（テニュアトラック）・田中 沙智
受け入れ教員	職名・氏名	准教授・北村 秀光
研究目的 (100 字以内)	本研究では、カロリー制限下でマウスに大腸炎を発症させ、その病態の解析と疾患改善の制御メカニズムを明らかにし、食事制限による免疫系を介した炎症性腸疾患の予防法を確立することを目的とする。	
研究内容・成果 (200 字以内)	カロリー制限下で DSS を飲水させ大腸炎を発症させたところ、体重減少が有意に抑制し、大腸炎の病態が改善すること、また大腸における免疫細胞の浸潤、炎症性サイトカインおよびケモカインの mRNA 発現が有意に減少することを見出した。従って、適切な食事の制限は、大腸炎において、ケモカイン産生を介した免疫細胞の浸潤や炎症性サイトカイン産生を抑制することにより、病態を軽減する作用効果を示すことが期待される。	
成果	【学会報告】 山田和輝、古屋花暖、山本佳奈、田中沙智 カロリー制限下での CD4 陽性 T 細胞の表現型変化に関わる microRNA の探索 日本食品免疫学会第 12 回学術大会 東京大学 平成 28 年 11 月 10 日	
	【論文発表】 なし	
	【新聞報道】 なし	